

水沢で宇宙の観測が始まってから今年で120年を迎えます。
緯度観測から現代へと続く科学の道筋を辿り、
今、この地で進められている最先端の研究をご紹介します。

宇宙研究

最新

120年目の

国立天文台水沢創立120周年記念

講演会

日付 **2019年12月15日(日)**
開演 **13:00(開場 12:30)**
場所 **奥州市文化会館Zホール 大ホール**
(URL <http://www.oshu-bunka.or.jp>)

対象 **小学校高学年以上**
※小学校低学年以下の入場を制限するものではありません。

**無料駐車場有
予約不要・参加無料**

【注意】
お車でお越しの際は、Zホール無料駐車場をご利用ください。近隣施設や隣接する図書館の駐車場には、お停めにならないようお願い致します。

【お問い合わせ】

国立天文台水沢創立120周年記念事業
実行委員会
TEL 0197-22-7111



緯度観測からブラックホール撮影まで
～国立天文台水沢120年の歩み～

講演時間 13:20～13:55



水沢VLBI観測所所長 本間希樹 教授

国際宇宙探査時代における
国立天文台水沢

講演時間 14:00～14:35



RISE月惑星探査プロジェクト長 立木則行 教授

アテルイの観る宇宙

講演時間 14:50～15:25



天文シミュレーションプロジェクト長 小久保英一郎 教授

木村榮と緯度観測所

講演時間 15:30～15:50



一橋大学社会科学古典資料センター 馬場幸栄 助教

展示会

場所 奥州宇宙遊学館・国立天文台水沢VLBI観測所

緯度観測所の歴史
明治から戦後まで

日付 12月15日(日) ▶ 21日(土)
時間 09:00～17:00
場所 奥州宇宙遊学館 セミナー室
入館料 200円 (奥州宇宙遊学館入館料)
※12月15日(日)のみ13:00開場、
17日(火)は休館日。

緯度観測所から
国立天文台水沢へ

昭和から令和まで
日付 11月30日(土) ▶ 12月22日(日)
時間 09:00～17:00
場所 奥州宇宙遊学館 廊下
入館料 200円 (奥州宇宙遊学館入館料)
※火曜日休館

旧眼視天頂儀室
室内公開

日付 11月30日(土) ▶ 12月22日(日)
時間 09:00～16:00
場所 国立天文台
水沢VLBI観測所 構内
※見学無料
※晴天時のみ公開

【主催】国立天文台水沢創立120周年記念事業実行委員会
構成 国立天文台、国立天文台水沢友の会、岩手県南広域振興局、奥州市、
NPOイーハトーブ宇宙実践センター/奥州宇宙遊学館

【協力】岩手日報社、胆江日日新聞社
【後援】岩手日報社、河北新報社、胆江日日新聞社、岩手日日新聞社、水沢テレビ、奥州エフエム

【協賛】

TEL

東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ

Design by 朝倉 佑